

Cisco MCS 7845-I2

シスコ ユニファイド コミュニケーションは、音声、ビデオ、データ、モバイル製品およびアプリケーションから成る包括的な IP コミュニケーション システムです。効率性に優れたセキュアでパーソナルなコミュニケーションが実現するため、売上げと利益をすぐに向上させることができます。新しいコミュニケーション方式により、人々を結び付けることができます。ビジネスは常にユーザとともに移動し、セキュリティは万全に張り巡らされ、情報はいつでもどこでも必要なときに入手することができます。シスコ ユニファイド コミュニケーションは、ネットワーク インフラストラクチャ、セキュリティ、モバイル性、ネットワーク管理製品、ライフサイクル サービス、フレキシブルな展開とアウトソース管理オプション、エンドユーザとパートナーの財務パッケージ、およびサードパーティ製の通信アプリケーションで構成される統合型ソリューションの一部です。

Cisco[®] Media Convergence Server (MCS) 7845-I2 は、シスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューション用のハイ アベイラビリティなサーバ プラットフォームで、企業のデータ ネットワーク上で稼働する新世代の高品質 IP 音声ソリューションを実現するスケーラブルなアーキテクチャに不可欠のコンポーネントです。Cisco MCS 7845-I2 は、今日の企業ネットワークに要求される優れたパフォーマンスとアベイラビリティを備え、展開が容易でコスト効率にも優れています。Cisco MCS 7845-I2 は、わずか 2 RU の高さの薄型シャーシ モデルで、ラック スペースを最小限に抑えながら強力な機能を提供します。

- Intel 5140 Xeon 2.33 GHz プロセッサ × 2、1333 MHz Front Side Bus (FSB; フロント サイドバス)、および 4 MB レイヤ 2 キャッシュ
- Chipkill 保護を搭載した 4 GB 超高速フル バッファ 667 MHz PC2-5300 Double Data Rate 2 (DDR2) Error Checking and Correcting (ECC) メモリ (常にペアで搭載)
- IBM ServeRAID 8k Redundant Array of Independent Disks (RAID) コントローラ (256 MB メモリとバッテリー バックアップ式キャッシュを装備)
- 2 ポート ギガビット イーサネット コントローラ (内蔵型)
- 取り付けが簡単なサードパーティ製レール キット
- 最大 8 基の小型フォーム ファクタ ホットプラグ対応ハードドライブのサポート
- ホットプラグ対応の冗長電源装置
- ホットプラグ対応の冗長ファン
- 障害コンポーネントの特定に役立つ IBM Light Path 診断機能
- IBM SlimLine Remote Supervisor Adaptor II (RSA II)

サポートされるアプリケーション

Cisco MCS 7845-I2 では、次のシスコシステムズ製アプリケーションを実行できます。

- Cisco Unified Communications Manager (前 Cisco Unified CallManager) — サーバあたり最大 7500 台の Cisco Unified IP Phone
- Cisco Unified Presence
- Cisco Unified Contact Center Enterprise
- Cisco Unified Contact Center Express

- Cisco Unified IP Interactive Voice Response (IP IVR)
- Cisco Unified Customer Voice Portal
- Cisco Unified MeetingPlace® リモート会議ソリューション
- Cisco Unified MeetingPlace Express
- Cisco Unified IP Queue Manager
- Cisco Unity® Unified Messaging
- Cisco Unity Connection

主な機能と利点

パフォーマンス

Cisco MCS 7845-I2 は、最新のユニファイド コミュニケーション アプリケーションをサポートするように設計された、ハイアベイラビリティかつ堅牢なサーバ プラットフォームです。Cisco MCS 7845-I2 では、速度可変式ファンのサポート、NetBAY ケーブルのサポート、Light Path 診断機能、および Chipkill メモリのサポートなど、多くの最新技術が採用されています。Cisco MCS 7845-I2 はわずか 2 RU サイズでありながら、ハイアベイラビリティなサーバ プラットフォームに最も必要とされる機能の数々を提供します。

優れたアベイラビリティ

Cisco MCS 7845-I2 の優れたアベイラビリティは、以下のメカニズムによって実現されます。

- 冗長性のあるホットスワップ対応 835 W 電源装置
- ホットスワップ対応 SAS ハードドライブ (RAID 1 構成)
- 冗長性のあるホットスワップ対応ファン

メモリ

Cisco MCS 7845-I2 は、DDR2 メモリを 48 GB まで搭載できます。プロセッサの性能向上と DDR2 メモリの採用によって、情報検索と情報処理を高速かつ効率的に実行できます。DDR メモリでは、従来の Synchronous Dynamic RAM (SDRAM) メモリに比べて 1 サイクルあたりの動作数が 2 倍になっているので、メモリおよびプロセッサ間のデータ交換速度が実質的に 2 倍になります。

速度可変式ファンのサポート

Cisco MCS 7845-I2 では、速度可変式ファンの採用により、運用時の騒音が低減されています。サーバ内の温度センサを使用してファンの速度を調整し、適正な冷却制御を行います。冷却が必要なおとぎのみ冷却要件に基づいた速度でファンが作動することで、ファンから発生する騒音を抑制します。

ACT

Cisco MCS 7845-I2 では、IBM の最新の NetBAY Advanced Connectivity Technology (ACT) 製品がサポートされています。これにより、一連の管理システムをカテゴリ 5 ケーブルで連結でき、Keyboard/Video/Mouse (KVM) のコストを削減できます。全体的なコストが削減できるだけでなく、ACT の採用によって、かさばって乱雑になりがちなケーブルを減らすことができ、ラック内のサーバを保守しやすくなります。

保守性

Light Path 診断機能

Cisco MCS 7845-I2 には、Light Path 診断機能が装備されています。Light Path 診断機能では、カバーを取り外さずに確認できる中央情報 LED パネルのほか、システム全体に取り付けられた対象ごとの LED ランプを利用します。これらの LED ランプには、メモリ DIMM、Peripheral Component Interconnect (PCI) スロット、電源装置、CPU などの状態が表示されます。IT スタッフがすばやくシステムの状態を確認し、保守スタッフが障害の発生しているコンポーネントを正確に特定できるので、ダウンタイムと保守コストを削減できます。また、技術スタッフ以外でも、上部カバーを取り外さずにエラー状況を報告できるので、重要なコンポーネントをさらに危険にさらす必要がなく、アベイラビリティが向上します。サーバの前面にあるシステム エラー LED が点灯すると、サーバ内部または電源装置に取り付けられた 1 つまたは複数の LED が点灯します。これらの LED によって、サーバ コンポーネントに関する問題の識別と特定が容易になります。点灯しているランプをたどっていけば、発生したシステム エラーのタイプをすばやく識別できます。Cisco MCS 7845-I2 は、サーバがシャットダウンした場合でも、AC 電源が正常で電源装置から +5 VDC の電力をサーバに供給可能なかぎり、点灯している LED が消灯しないように設計されています。

Light Path 診断では、次の障害状況を表示できます。

- 片方または両方の電源装置が最大定格を超える電力を消費
- 電源装置 1 の障害
- 電源装置 2 の障害
- Voltage Regulator Module (VRM; 電圧調整モジュール) でエラーが発生
- 片方または両方のプロセッサで障害が発生
- ハードウェア コンフィギュレーション エラー
- メモリ エラー
- マスク不可能な割り込み
- システム ボードでのエラー
- サービス プロセッサの障害
- PCI-X スロット A、B、または C に搭載されたアダプタでエラーが発生
- ハード ディスク エラー
- ファン障害または回転速度の低下
- システムの温度が最大定格を超過
- ソフトウェアのエラー
- RAID コントローラのエラー

リモート管理

RSA II SlimLine によって、アクセラレーテッド グラフィック機能の追加と高度な制御機能および監視機能の提供が可能になり、事実上、時間と場所を問わずに Cisco MCS 7845-I2 を管理できます。アダプタ カードはプレーナに接続するコネクタを使ってサーバに搭載できます。このアダプタによって、テキストとグラフィックを使用したコンソール リダイレクションが容易に利用できるとともに、システム管理 LAN 接続を介したキーボードとマウス (オペレーティング システムでの Universal Serial Bus [USB] サポートが必要) のサポートも可能になります。アダプタ ハードウェアにはビデオ圧縮機能が内蔵されており、市場での標準となりつつある大きな画面と高いリフレッシュ レート

に対応できるように設計されています。この機能によって、ユーザは電源投入から稼働状態にいたるサーバ アクティビティをリモートで表示でき、リモートからの操作が事実上いつでも行えます。組み込み型の Web サーバを備えているので、任意の標準 Web ブラウザを使用してリモート制御が行えます。リモート管理用ワークステーションにソフトウェアを追加する必要はありません。CLI を使い慣れたユーザの場合、管理者は Telnet セッションから所定の CLI を使用して、Web サーバから実行可能な機能の一部を実行することもできます。RSA II SlimLine を使用することで、サーバが電源オフの状態でも、あるいは使用不可能な状態でも、サーバの状態を問わずにシステムのリモート管理および制御が行えます。

機能および利点は、次のとおりです。

- アダプタは、システム環境(温度や電圧)、オペレーティング システムの状態、および重要なシステム コンポーネント(プロセッサ、Voltage Regulator Module [VRM; 電圧調整モジュール]、メモリ、ファン、電源、および電源バックプレーン [システムでサポートされている場合] など)の持続的な監視を行います。
- ビデオ圧縮ハードウェアが内蔵されているため、ドライバは不要です。
- 高速なグラフィック サポートにより、効率的な監視および制御が可能です。
- RSA II SlimLine は SSL および LDAP をサポートします。
- アダプタは IBM Director および Director Agent と統合できます。
- 組み込み型 LAN およびシリアル接続により、実質的にあらゆるネットワーク インフラストラクチャをサポートします。
- E メール、ポケットベル、LAN または SNMP(簡易ネットワーク管理プロトコル)を使用した複数のアラート機能により、システム管理者に潜在的な問題を通知します。
- アダプタは、専用のコネクタを使用してシステム プレーナに搭載します。これにより、PCI-X スロットを使用する必要がなくなります。

RSA II SlimLine 機能は RSA II と類似していますが、以下の点で異なります。

- リセット ボタンにはシステム背面からはアクセスできません。
- ミニ USB ケーブルは不要です。デバイスは内部 USB バスを使用します。システムは指定のシステム管理イーサネット ポートを保持しており、RSA II SlimLine が搭載された場合にのみアクティブになります。
- 外部 AC アダプタは不要です(デバイスはシステム電源装置の予備電源を使用します)。
- ステータス LED は外部から視認できません。
- RSA II SlimLine は、従来の RSA II 相互接続機能をサポートしていません。

テープドライブのサポート

Cisco MCS 7845-I2 ではオプションで、外付けの 36/72 GB Universal Serial Bus(USB) Digital Audio Tape (DAT)ドライブ(製品番号 DAT-USB-EXT-72=)または USB ラックマウント DAT ドライブ(製品番号 DAT-USB-RM-72=)をサポートします。このテープ ドライブの接続には、Cisco MCS 7845-I2 サーバにある USB 2.0 ポートの 1 つを使用します。

※なお、日本国内では DAT ドライブに電源を供給するための電源ケーブルとして CAB-JPN= の発注が必要です。

製品仕様

表 1 製品仕様

| | |
|---------------|--------------------|
| プロセッサ(CPU) | Intel 5140 Xeon DP |
| プロセッサ内部クロック速度 | 2.33 GHz |
| レベル 2 キャッシュ | 4096 KB |
| 最大プロセッサ数 | 2 |
| 出荷時のプロセッサ数 | 2 |
| BIOS タイプ | フラッシュ |

表 2 メモリ仕様

| | |
|--------------|---|
| 最大メモリ容量 | 48 GB |
| メモリ バス クロック | 667 MHz |
| メモリ技術 | PC2-5300 667 MHz DDR2 SDRAM |
| マルチビット エラー緩和 | Advanced Error Checking and Correcting (AECC) |
| 合計 RAM スロット数 | 12 |
| 搭載メモリ容量 | 4 GB (1 GB DIMM × 4) |

表 3 RAID コントローラ仕様

| | |
|------------------------|---------------------------------|
| コントローラ モデル | IBM ServeRAID 8k コントローラ (メザニン型) |
| インターフェイス | マザーボードに接続 |
| キャッシュ | 256 MB |
| バッテリー バックアップ式ライト キャッシュ | あり |
| サポートされる RAID レベル | 1 |

表 4 ハード ディスク仕様

| | |
|-----------------------|----------|
| ホットスワップ対応ベイの数 | 8 |
| ハード ディスク インターフェイスのタイプ | SAS |
| 搭載ハード ディスク | 次の表を参照 |
| ハード ディスク RPM | 10,000 |
| ハード ディスク平均シーク時間 | 4 ms |
| データ転送レート | 300 MB/秒 |

表 5 製品番号別のディスク構成

| | |
|---|----------------------|
| MCS-7845-I2-CCE1 MCS-7845-I2-CCX1 MCS-7845-I2-ECS2 MCS-7845-I2-IPC1 MCS-7845-I2-RC1 MCS-7845-I2-S31 MCS-7845-I2-UC1 | 72.3 GB SAS ドライブ × 4 |
| MCS-7845-I2-ECS1 | 72.3 GB SAS ドライブ × 8 |

表 6 ネットワーク インターフェイス仕様

| | |
|-------------------------------------|---|
| イーサネット NIC (ネットワーク インターフェイス カード) | オンボード 10/100/1000 × 2 |
| イーサネット コネクタ | RJ-45 コネクタ × 2(サーバ背面) |
| 10BASE-T ケーブルのサポート | EIA(米国電子工業会)カテゴリ 3、4、または 5 Unshielded Twisted-Pair (UTP; シールドなしツイストペア)(2 または 4 ペア)、最大 100 m(328 フィート) |
| 100BASE-TX ケーブルのサポート | EIA カテゴリ 5 UTP(2 ペア)、最大 100 m(328 フィート) |
| 1000BASE-T ケーブルのサポート | EIA カテゴリ 6 UTP(推奨)、5E UTP、5 UTP(2 ペア)、最大 100 m(328 フィート) |

表 7 インターフェイス ポート仕様

| | |
|------------------------------|---------------------------------|
| シリアル ポート | 1 |
| パラレル ポート | 0 |
| USB 2.0 ポート | 7 |
| キーボード ポート | USB ポートの 1 つを使用(PS/2 ポートの提供はなし) |
| マウス ポート | USB ポートの 1 つを使用(PS/2 ポートの提供はなし) |
| オーディオ ポート | なし |
| Video Graphics Array(VGA)ポート | シャーシ前面に 1、背面に 1 |
| システム管理ポート | IBM RSA2 専用 RJ-45 イーサネット ポート |

表 8 セキュリティ機能

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • パワーオン パスワードおよび特権アクセス パスワード機能は、サーバ上のデータおよびサーバ セットアップ プログラム へのアクセスを制御します。 • 無人ブートモードを設定すると、パスワードを除くすべてのエントリに対し、システム キーボードをロックできます。また、ネットワーク上のその他のコンピュータでシステム ディスクドライブにアクセスできるようになります。 • 選択可能なブート シーケンスを使用すると、無許可でのソフトウェアのインストールやデータのディスク ドライブからの削除を防止できます。 |
|--|

表 9 標準準拠

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • Multiprocessor Specification (MPS) 1.4 • PCI 仕様 2.3 • PCI-X 仕様 V2.0a • ハードウェアは International Organization for Standardization (ISO; 国際標準化機構)9241、Part 3 標準に対応 |
|--|

表 10 拡張オプションおよびインターフェイス

| 拡張オプション | |
|-------------------------------------|---|
| ホットプラグ非対応 PCIe 8X スロット | 1 |
| ホットプラグ非対応 133 MHz/64 ビット PCI-X スロット | 2 |

表 11 システム ユニット仕様

| | | |
|---------------|------------------------|--|
| 外形寸法(高さ×幅×奥行) | 8.54 × 44.36 × 69.8 cm | 3.36 × 17.5 × 27.5 インチ |
| 重量(最大) | 29.6 kg | 65 ポンド |
| 入力要件(電源装置ごと) | 定格電圧 | 100 ~ 127 VAC、200 ~ 240 VAC |
| | 定格入力電流 | 10 A(100 VAC)、10 A(120 VAC)、5 A(200 VAC) |
| | 定格入力周波数 | 50 ~ 60 Hz |
| BTU 定格(最大) | BTU/Hr | 3390 |
| 電源出力 | 定常状態出力電力 | 835 W |

| | | |
|---------------|------------------------|---|
| 温度範囲 | 動作時 | 0 ~ 914.4 m(0 ~ 3000 フィート)の高度において 10 ~ 35°C(50 ~ 95°F)で動作。 それ以降は、304.8 m(1000 フィート)ごとに 0.75°C 下降可。 最大高度は 3048 m(10000 フィート) |
| | 非動作時 | 10 ~ 43°C(50 ~ 109.4°F) |
| | 出荷時 | -4 ~ 60°C(-40 ~ 140°F) |
| 相対湿度(結露しないこと) | 動作時 | 8 ~ 80% |
| 最大高度 | 2133 m | 7000 フィート |
| 音響ノイズ | 動作時の最小値(ランダム検出~固定ディスク) | L WAd(bel) 6.8 |

表 12 装置の適合規格と安全性

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • Federal Communications Commission(FCC; 米国連邦通信委員会)認可:FCC ルール Part 15, Class A 準拠 • カナダ Information Collection and Evaluation Standard(ICES)-003, Issue 4, Class A • UL/IEC 60950-1¹ • CSA C22.2 No. 60950-1-03 • NOM-019¹ <p>¹ このサーバ モデルは UL および NOM の各代理店により承認されています。</p> |
|--|

発注情報

シスコ製品の購入方法の詳細は、「[購入案内](#)」を参照してください。

表 13 発注情報

| 製品名 | 製品番号 |
|--|--|
| Cisco CallManager 3.3 | CALLMANAGER-3.3 |
| Cisco Unified CallManager 4.0 | CALLMANAGER-4.0 |
| Cisco Unified CallManager 4.1 | CALLMANAGER-4.1 |
| Cisco Unified CallManager 4.2 | CALLMANAGER-4.2 |
| Cisco Unified Communications Manager 4.3 | CALLMANAGER-4.3 |
| Cisco Unified Presence | Cisco Unified Presence Server のデータシートを参照 |
| Cisco Unified Contact Center Enterprise | IPCE-BUNDLE |
| Cisco Unified Contact Center Express | IPCX-40-STANDARD IPCX-40-ENHANCED IPCX-40-PREMIUM UCCX-45-STANDARD UCCX-45-ENHANCED UCCX-45-PREMIUM |
| Cisco Unified IP IVR | IPIVR-3.5= |
| Cisco Unified MeetingPlace リモート会議ソリューション | Cisco Unified MeetingPlace のデータシートを参照 |
| Cisco Unified MeetingPlace Express | Cisco Unified MeetingPlace Express のデータシートを参照 |
| Cisco Unified IP Queue Manager | IPQM-3.5= |
| Cisco Unity Unified Messaging | UNITY-BUNDLE |
| Cisco Unity Connection | UNITYCN-BUNDLE |

スペア サーバ

表 14 スペア サーバ発注情報(アプリケーション別)

| アプリケーション | スペア製品番号 |
|--|---|
| Cisco Unified Communications Manager | MCS-7845-I2-IPC1 |
| Cisco Unified Presence Server | MCS-7845-I2-IPC1 |
| Cisco Unified Contact Center Enterprise | MCS-7845-I2-CCE1 |
| Cisco Unified Contact Center Express | MCS-7845-I2-CCX1 |
| Cisco Unified IP IVR | MCS-7845-I2-CCX1 |
| Cisco Unified MeetingPlace リモート会議ソリューション | MCS-7845-I2-RC1 |
| Cisco Unified MeetingPlace Express | MCS-7845-I2-RC1 |
| Cisco Unified IP Queue Manager | MCS-7845-I2-CCX1 |
| Cisco Unity Unified Messaging | MCS-7845-I2-ECS1 (オンボックス ボイスメールのみ) (72 GB × 8 ハードディスク構成) MCS-7845-I2-ECS2 (オフボックス ユニファイド メッセージング またはボイスメール) (72 GB × 4 ハードディスク構成) |
| Cisco Unity Connection | MCS-7845-I2-UC1 |

現場交換可能なスペア品

表 15 サーバのスペア製品の発注情報

| 説明 | スペア製品番号 |
|---|------------------|
| スペア 1024 MB SDRAM DIMM (Cisco MCS 7845-I2 用) × 2 | MEM-7845-I2-2GB= |
| スペア 72.3 GB ホットプラグ対応 SAS ドライブ (Cisco MCS 7845-I2 用) | HDD-7845-I2-72= |
| スペア 835 W 電源装置 (Cisco MCS 7845-I2 用) | PWR-7845-I2= |
| スペア ファン (Cisco MCS 7845-I2 用) | FAN-7845-I2= |
| ホットプラグ非対応 36/72 GB DAT ドライブ (Cisco MCS 7845-I2 用) | DAT-7845-I2= |

サーバの CPU 速度の識別方法

初期生産以降の Cisco MCS 7845-I2 では、Intel 社による高速プロセッサの開発に合わせて、サーバのプロセッサも変更されます。表 16 は、シャーシに記載されるシスコの製造製品番号を示しています。これによって個々のサーバのプロセッサ速度を識別できます。

表 16 製造製品番号(プロセッサ速度別)

| プロセッサ | 製造製品番号(サーバに記載) | 仕様 |
|---------------------|----------------|---|
| Intel 5140 2.33 GHz | 74-4518-01 | 製品番号 MCS-7845-I2-ECS1 のサーバの初期生産品 |
| Intel 5140 2.33 GHz | 74-4490-01 | 次の製品番号のサーバの初期生産品 MCS-7845-I2-CCE1 MCS-7845-I2-CCX1 MCS-7845-I2-ECS2 MCS-7845-I2-IPC1 MCS-7845-I2-RC1 MCS-7845-I2-S31 MCS-7845-I2-UC1 |

保証に関する情報

シスコは、Cisco MCS について 1 年間のハードウェア保証を行っています。この保証の条件については、http://www.cisco.com/en/US/products/prod_warranties_listing.html をご覧ください。

シスコ ユニファイド コミュニケーションのサービスおよびサポート

シスコシステムズとパートナーは、シスコのライフサイクル サービスの考え方を活用して、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムをサポートするための幅広いエンドツーエンド サービスを提供しています。これらのサービスは、IP コミュニケーション ソリューションの構築、運用、および最適化に効果のある手法を基にしています。たとえば、早期段階に計画サービスおよび設計サービスを活用すると、厳しいスケジュール要件を満たすことができ、導入作業中のネットワークの停止を最小限に抑えます。運用サービスを使用すると、専門のテクニカル サポートによって通信の中断リスクを軽減できます。最適化サービスを使用すると、ソリューションのパフォーマンスが向上し、運用効率が高まります。シスコとそのパートナーは、耐障害性の高い統合型ネットワークの構築および維持に役立つシステムレベルのサービスおよびサポートを提供し、企業ニーズに対応しています。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0805R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先